

11月4~8日 総合常任委員会行政視察

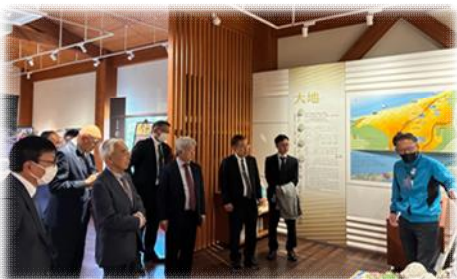


奈良県宇陀市 移動診療車

総合常任委員会では、本市の課題などに対し、他の自治体の先進的な取り組みについて調査するため、隔年で行政視察を行っています。

今年度は茨城県常総市および和歌山県紀美野町で「農業の多角的経営に関する取り組み」、鳥取県鳥取市で「脱炭素先行地域の取り組み」および「ジオパークの取り組み」、奈良県葛城市で「AIを活用した相談システムの構築」、奈良県宇陀市で「医療過疎地域への対応」について、視察を行いました。

鳥取県鳥取市 鳥取砂丘ビジターセンターでの説明の様子



和歌山県紀美野町 キミノーカでの説明の様子



茨城県常総市 中村議長挨拶の様子

## 第3回定例会の概要

■三笠市水道給水条例及び三笠市水道条例の改正を可決

国土交通省による地方自治法に基づく技術的助言を踏まえ、災害その他非常の場合における復旧工事を円滑に実施するための条例改正を可決しました。

■ヒグマ対策事業を可決

国の「ヒグマ対策事業」制度を活用し、ヒグマの生息地と生活圏の区分けや過去に出没があった箇所の草刈り、人里への出没抑制などを目的とした捕獲事業を実施するための補正予算を可決しました。

また、ヒグマ対策事業の支援拡充に伴い、春季管理捕獲支援事業が補助対象となったため、事業間の調整を行う補正予算を可決しました。

■CO2固定化調査事業を可決

CO2固定化の手法・課題などに関する調査について、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）公募の「カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発／石炭利用に伴うCO2固定化可能性調査事業」にて提案事業が採択されたため、必要な経費についての補正予算を可決しました。

■令和6年度各会計決算を認定

令和6年度の予算執行について、決算特別委員会を設置し、慎重な審査の結果、認定しました。決算特別委員会の詳細については、4ページを参照してください。

第3回定例会での一般質問  
(9月10・11日)



池田真志

▼対話型人工知能について（運用状況と導入効果について）

【質問】対話型人工知能については国や都道府県及び地方自治体において導入が進んでおり、事務効率の向上に効果を上げていると新聞やテレビなどで報道されています。

令和6年4月から本市において運用が開始された対話型人工知能の導入によって、市職員の業務の処理過程において、どのような変化をもたらしたのか、また、その効果はどのように表れているのかお聞きかせください。

【答弁】本市においては、自治体向けの対話型人工知能を令和5年12月から1カ月間の無料トライアルを経まして、令和6年4月より正式に運用を開始しました。

職員を対象とした令和6年4月から翌年5月までの利用状況のアンケートの結果では、「利用したことがある」との回答が47%、そのうち「業務効率を感じた」、「実感した」との回答が48%あり、全体の22%で業務の効率化を感じたこととなります。このことは、業務効率化を図る上で意識の変化につながったと考えています。

今後多く多くの職員が利用すること、業務効率の向上、考え方の参考に

なるものと考えており、さらなる利活用に努めていきたいと考えています。

【その他の質問】

▼マイナンバーカードについて



谷津邦夫

▼人が安心して暮らせるまち三笠について（自治会組織の解散に伴う暗がり解消対策について）

【質問】市民が安全・安心に暮らせるため、防犯灯の維持管理を将来に向けて行政政策の中に望みたいが、その考え方をお聞きかせください。

【答弁】本市では、防犯灯の設置費や維持管理費を8割補助しており、できる限り地域での維持管理を基本としています。近年では、直営管理に移行している自治体があることも認識しています。状況を見つつ今後も地域と話をしていきたいと考えています。

▼選挙制度について（将来を見据えた選挙制度の見直しについて）

【質問】高齢化に伴い投票所の見直しについて、特定の地域から指摘があります。投票率向上の取り組みや期日前投票所への移動支援など、選挙管理委員会の考え方をお聞きかせください。

【答弁】直近では、平成19年に選挙人の減少により投票所2カ所を廃止し、市民センターへ統合しています。投票

区の区割りは、当市の実情にあったものですが、新たな投票所までの距離を考慮して区割りを考えていきたいと考えています。また、移動支援は道内で実施している他市町村の取り組みを参考に検討していきたいと考えています。



畠山 幸

▼地域公共交通について

【質問】今年度4月から通勤等交通確保事業がスタートしましたが利用状況はどのようになっていますか。

【答弁】中央バス三笠線の最終便が4月より21時から19時10分に繰り上がったことに伴い、これまで21時の中央バスに乗りしていた方に対して交通確保をするため乗り合いタクシーの運行を行っているところです。

利用者数は8月までの登録者数で24人となっています。内訳は通勤が10人、通学が11人。医療機関などの通院が3人となっています。

運行実績は4月から7月までの4カ月で運行日数69日でした。利用人員については、延べ83人1回の運行乗車人員は、平均で1・2人となっています。

【質問】実際の利用者が、1・2人平均ということ、現状の便数ですとか運行時間のニーズが、合致していない場合、便数や運行時間の柔軟な見直しは考えられますか。

【答弁】今月末でこの事業が4カ月経

過しようとしています。現在登録している方を含めて実態調査をかけようと思っており、現状と課題を把握していきたいと考えています。

【その他の質問】

▼老朽化している公共施設について



青木康博  
(社会民主党)

▼達布山史跡公園について

【質問】展望台へと繋がる遊歩道について、現状は閉鎖となっていますが、今後活用するのか、そのまま廃道にするのかお聞きかせください。

【答弁】達布山史跡公園は、昭和61年11月に整備されてから約39年が経過しています。公園内の遊歩道については、公園を維持管理していく中で、毎年、スズメバチが大量に発生し、人に危害を加える恐れがあったことや、展望台付近で熊の出没が以前にあったことなどから、利用者の安全面を考慮し、平成24年から閉鎖しています。また道道美唄三笠線側の駐車場横から車で展望台へ行くための上り専用の道路についても、道幅が狭く、急勾配で、上り専用の注意看板を設置しても、下りてくる車両があり、退避所もなく交差もできないことから、安全面を考慮し閉鎖しています。今後も利用者の安全面を優先して、現状の封鎖した状態での管理が望ましいと判断しています。

【その他の質問】

▼三笠鉄道村について



須河恵介

▼災害に対する安全・安心の備えについて(災害時のペットの対策について)

【質問】 地域防災拠点や避難所へのペットとの同行避難対応についてのガイドラインや避難訓練の考え方およびペットを含めた防災教室の実施についてお聞かせください。

【答弁】 国では、災害時のペットの救護対策ガイドラインを策定し、原則、避難の際に、飼主とペットの双方の安全を確保するために、同行避難するといったことを基本とし、各自自治体においてペットと共に安全に避難できる体制の整備を求めている。本市においても、ペットも家族の一員であることを踏まえ、災害を経験した自治体の事例を参考に、情報収集を進めながら、検討してまいりたいと考えています。

また、ペットが避難生活に適應できるようにするには、防災教室だけではなく、日頃からの適切な飼育や習慣付けが大切であることから、今後は関係所管と連携しながら、日常からの啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。

【その他の質問】

▼地域の資源を活かすまちづくりについて(技能労働者の実態と今後の対策について)



浅尾三吉  
(公明党)

▼軟骨伝導イヤホンの導入について

【質問】 双方のコミュニケーションを円滑にするため、窓口に軟骨伝導イヤホンを設置できないか伺います。

【答弁】 軟骨伝導イヤホンの導入については、このイヤホンのメリットやデメリット、現行制度との関係、近隣自治体の取り組みや利用実態など、窓口でのさらなる聞こえの支援について研究していきます。

▼ふるさと納税について

【質問】 本市のふるさと納税額の推移とこれからの見通し、さらに、現地決済型ふるさと納税に取り組めないか伺います。

【答弁】 令和6年は約17億300万円で、令和4年から10億円を超えてきましたが、返礼品の確保など昨今の社会情勢の問題から、これ以上大幅に寄付額が増額することは難しいと考えています。また観光や仕事などで三笠に来た方ができる現地決済型ふるさと納税は、イベントなどで一時的に行ったことがあります。

【その他の質問】

▼投票しやすい環境づくりについて(投票率向上の取り組みについて、投票支援カードの導入について)



折笠弘忠

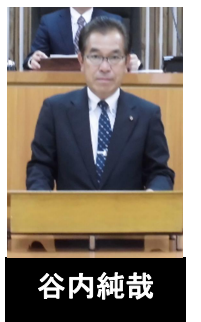
▼広域道路(道道・国道)について

【質問】 重要観光ルートとして交通量を確保するために安全性や利便性の良い道路への改良や対策が市民生活の安全性において必要と考えるが、市内道路の現状において、国や道に検討していただきたい箇所の方についてお聞かせください。

①本郷・宮本町の2車線の中央分離帯の植樹の必要性②幸町車線変更される交差点③過去に要望のあった藤枝町4灯式信号機の設置④桂沢国道452号の事故多発の対策

【答弁】 中央分離帯については現在、街路樹という性質上、対向車線との接触や歩行者の横断など交通安全上区分けは必要ですが、緑化や植樹が良いのかは草刈りなど管理が行き届かない中で事故が多発しているのであれば、別の形に変更することも踏まえ道路管理者側と相談をします。藤枝町の交差点については、昨年と本年1時間あたり300台を超える交通量があることから、本年においても設置を要望しています。桂沢国道452号については、事故などを踏まえ警察、市、

道路関係者と現場診断を実施しており、危険箇所については、道路管理者である札幌開発建設部に改善の要望をしています。



谷内純哉

▼市民センターについて

【質問】 センターの管理人の業務と委託料についてお聞かせください。

【答弁】 業務については、申し込み受け付け、使用料の受領納入、施設の管理(施設内外の清掃、草刈り、除雪など)、移動図書を受け渡し、事務整理となっています。人件費については、各センターの利用状況で違いがありますが、基本額を設定しており、利用状況により積算しています。

【質問】 センターの利用がない場合、自宅待機となっており、葬儀などの関係もあり休んだ気がしないとの声を聴きます。草刈りや除雪など1人での作業も多く大変と思いますが、人件費の内訳をお聞かせください。また、今後の人件費の考え方をお聞かせください。

【答弁】 月額6万円、待機手当1万円を基本ベースとし、利用日数に応じて加算したものを、月額の人件費としています。人件費の変更については、各地区センター運営委員会です承を得て変更しています。今後の人件費については、他の委託職種などのバランスを考慮し協議、検討していきたいと考えています。

「三笠市議会」で検索するか、スマートフォン、タブレットで下記QRコードから過去の会議録を閲覧できます。



三笠市議会

## 決算特別委員会

(9月17・18日)

## ■財政総括について

【質疑】本市の経常収支比率94%について、ここ何年かを見ると、上昇傾向ですが、現状どういったとらえ方をしているかお聞かせください。

【答弁】経常収支比率について、地方税や普通交付税など毎年継続して入ってくる使い道の自由度が高い収入が、どれくらい割合で人件費や扶助費、公債費など毎年継続して固定的に支出されている経費に充てられるかを見るものとなっております。この比率の上昇は、人件費の上昇に伴うものであります。

【質疑】投資的な経費が34%ほど減額されています。投資的経費のところを多く持たないと市内経済がうまく回らないと思っておりますが、その辺をどう考えていますか。

【答弁】前年比33・9%の減ですが、前年度給食センターの整備事業費で5億4500万円という大きな事業を行っていたことが大きな要因となっております。市内経済のところは大事に考えています。

【質疑】公債費も増えていますが、この借入金について、元利償還をどのように考えているかお聞きかせください。

【答弁】公債費については、令和7年度から、繰り上げ償還を2億円ほど見えています。事業についても行っていき、そうしたうえで有利な起債を借りていきます。起債を借りていきますと、地方債の元利償還金の返す部分が増えてくるという形になっていきますのでそのバランスをみながら事業を進めていきたいと考えています。

## ■資源収集について

【質疑】資源収集したもののうち、売り払い可能なものの割合についてお聞かせください。

【答弁】収集したものに対して汚れや割れのあるものなど、重量比で5%弱を廃棄しており、95%ほどリサイクルしています。

## ■し尿処理について

【質疑】し尿処理量の減少について、今後の見通しについてお聞かせください。

【答弁】下水道未接続の方へ接続を促すことにより、処理量は減少していくものと考えています。下水道は供用開始から既に30年が経過しており、今後の水洗化については難しいところもありますが、普及啓発など努力してまいりたいと考えています。

## ■ファミリーランドみかさ遊園について

【質疑】ファミリーランドみかさ遊園にキャンプに来ていらっしゃる方が多くいます。どの程度の入り込みか、今後に向けて有料化の検討をしているかお聞きかせください。

【答弁】遊園自体の全体の入り込みは、令和6年度で、2万6598名います。そのうち、キャンプの利用者が5655名となっております。前年度から比べると、全体の入り込みで5千名以上増えて来ている状態です。キャンプ場の有料化の検討については、継続的に進めており、道内の同規模のキャンプ場を中心に、駐車場の規模や管理人の状況、各種設備の有無、料金などについて調査しているところであります。

## 総合常任委員会所管事項調査

(10月30日)

## ■東清住地区養豚場からの臭気に関する対応について

【質疑】臭気測定の結果、基準値を連続して超過しているところがありますが、その要因などどのように評価していますか。

【答弁】今回、基準値を超過した時の多くは、家畜臭がすると評価されていることから、豚舎の中での臭気が強かったのではと感じており、事業者に対して清掃の徹底など文書で注意を行っています。

## ■公共施設のLED化について

【質疑】一部改修や未改修の施設が多いと感じます。今後も計画的に進めていくと思いますが、すべて完了するのはどれくらいの期間がかかりますか。

【答弁】全体予算の枠の中で進めていくことから、完了時期については、見通せないのが現状ですが、学校など効果の大きいところから順次進めていきたいと考えています。

## ■空き家の状況について

【質疑】倒壊や落雪など他人に危害を加えた場合に責任を負うのは、所有者というところで良いですか。また取り壊した廃材が残っているとどこらなど、所有者への指導を進めていってほしい。

【答弁】所有者が責任を負うこととなります。指導については、件数も多く所有者の確認に時間を要することから、管理状態が悪いところから順次進めている状況です。

## 議会広報委員会

委員長 池田 真志  
副委員長 青木 康博  
委員 須河 恵介  
浅尾 三吉

## ご意見・ご要望

市議会だよりについて、より分かりやすく、読みやすい紙面づくりのための参考とさせていただきますので、市民の皆さんからの率直なご意見やご要望をお待ちしております。

【問合せ先】三笠市議会事務局

〒068-2192 三笠市幸町2番地 Tel②3194 Fax②7880

▶Eメール [gikai@city.mikasa.hokkaido.jp](mailto:gikai@city.mikasa.hokkaido.jp)

▶ホームページ <https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/assembly/>